

ブロック名：薬理学

月 日	曜 日	時 限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
4.9	月	V	薬理学総論1	松本 直樹	薬理学	1. 「薬」の定義 2. 薬理作用の基本 3. 薬物動態の基本	授業タイトルに関する内容について、文献・教科書等を用いて、概要・問題点を調べておくこと。
4.16	"	V	薬理学総論2	"	"	1. 用量反応曲線 2. 治癒係数 3. 投与経路と薬物動態	授業タイトルに関する内容について、文献・教科書等を用いて、概要・問題点を調べておくこと。
4.23	"	V	薬理学総論3	"	"	1. 薬物有害反応 2. 薬物相互作用 3. 医薬品の開発	授業タイトルに関する内容について、文献・教科書等を用いて、概要・問題点を調べておくこと。
5.7	水	V	タンパク質共役受容体 (GPCR)	飯利 太朗	薬理学	1. 受容体/レセプターの種類・定義 2. GPCRの作用と疾患	授業タイトルに関する内容について、文献・教科書等を用いて、概要・問題点を調べておくこと。
5.14	"	V	自律神経と薬理	武半 優子	薬理学	1. 神経系の構成 2. 自律神経、運動神経の構造 3. 交感神経・副交感神経支配と許容体	授業タイトルに関する内容について、文献・教科書等を用いて、概要・問題点を調べておくこと。
5.21	"	V	交感神経作用薬	"	"	1. 内因性カテコラミン、交感神経作用薬 2. 交感神経受容体遮断薬	授業タイトルに関する内容について、文献・教科書等を用いて、概要・問題点を調べておくこと。
5.28	木	V	副交感神経作用薬	渡辺 実	実験動物 飼育管理 研究施設	1. アセチルコリンの合成・分泌・分解 2. ムスカリン作用、ニコチン作用、コリン作用薬	授業タイトルに関する内容について、文献・教科書等を用いて、概要・問題点を調べておくこと。
6.4	"	V	抗コリン作用薬、神経節遮断薬、神経筋接合部遮断薬	"	"	1. 抗コリン作用薬 2. 3級アミンと4級アンモニウムの違い 3. 筋弛緩薬	授業タイトルに関する内容について、文献・教科書等を用いて、概要・問題点を調べておくこと。